

研究者志望のキミ、FIRSTに集まれ!

フロンティアサイエンス学部 [生命化学科]

Frontiers of Innovative Research in Science and Technology (FIRST)

バイオテクノロジー(生物)とナノテクノロジー(化学)が融合した

ナノバイオテクノロジー(生命化学)で、幅広い分野への応用技術を研究します。

FIRSTの進化型理系 Next Step



- めざす進路
- 化学系企業
 - 医療・製薬系企業
 - 食品・化粧品系企業
 - IT・情報系企業
 - 機械・設備系企業

キャリアデータはP.9へ

FIRSTならできる! 最先端を創る力を育む学び 学部TOPICS

自分の目的に応じて選択できる甲南大学ならではの彩り豊かな教育プログラム、「彩り教育」をもとに学びを展開しています。

彩り教育について詳しくはこちら



TOPIC

01 1年次からスタートする 専門的な実験と研究

一般的な大学のカリキュラムでは1年次に教養科目、2年次に基礎実験、3年次に専門実験、4年次に卒業研究という流れで学んでいくことが多い中、フロンティアサイエンス学部では、1年次から専門的な実験に取り組むカリキュラムを設定。定性分析、定量分析、顕微鏡などの基本機器の使い方や、滴定などの基本的な実験操作を、遺伝子組換え実験などの専門的な実験プログラムの中に組み込んでいます。1年次には週1日、2年次には週2日かけて、研究活動に必要な実験技術をしっかりと修得していきます。

POINT

電子顕微鏡や核磁気共鳴分光測定装置、電気泳動装置、クリーンベンチなど最先端の機器・装置を使って、多種多様な研究に取り組むことができます。



TOPIC

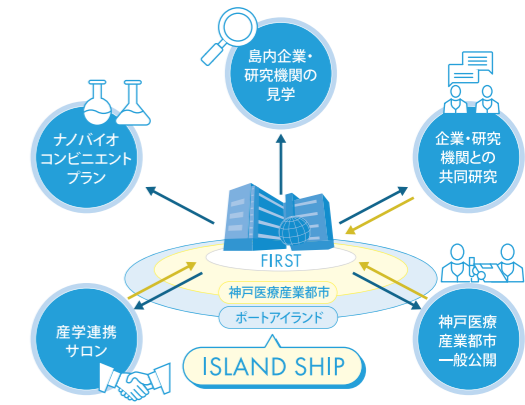
02 最先端の研究が集う島だからできる 実践的な“アイランドシップ連携”



神戸医療産業都市の中心地「神戸ポートアイランド」には、理化学研究所、先端医療センターのような公的研究機関や大学、医療や健康にかかわる企業が340社を超えて集まっています。この立地条件を最大限に生かした実践的な教育・研究活動が“アイランドシップ連携”。企業での研究を実体験できる「ナノバイオコンピニエントプラン」、研究者同士で討論する「産学連携サロン」、島内企業・研究機関の見学や共同研究など、ここでしかできない体験を積み重ねることができます。

POINT

研究に特化した産学連携型の就業体験として「ナノバイオコンピニエントプラン」を実施。企業や公的研究機関での就業体験や、共同研究などが可能です。



TOPIC

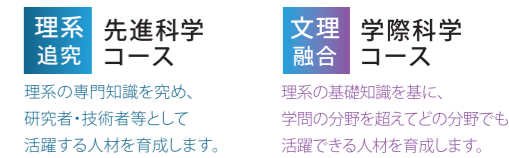
03 さまざまな場で活躍できる 文理融合のコースも



理系の素養をもって文系の分野でも活躍できる人材を育成し、多様な進路選択に対応するために、3年次に希望者は文理融合型の学際科学コースを選択することが可能です。1・2年次で学んだ生物学・化学の基礎知識や実験スキルをベースにしなが、社会学、システム論、マーケティングや公共政策なども受講します。卒業後に産学連携におけるコーディネーターや金融業、卸売業などのビジネス分野、公務員、起業などに挑戦していけるよう、社会で活躍するフィールドを広げる学びに取り組みます。

POINT

研究者・技術者として理系の専門知識を究める先進科学コースか、文理を融合した学際科学コースのどちらかを、3年次に選択することができます。



FIRSTだからできる、実践的なカリキュラム。

4年間の
カリキュラム

1年次 4つの序論科目で視野を広げる

2年次 興味のある分野で、専門性を高める

3年次 本格的な研究室活動がスタート

4年次 集大成となる卒業研究に取り組む

生物・化学という科目の境界を取り払い、
生命化学分野への広い視野を育てながら、専門実験にも挑戦します。

4つの分野に分かれた専門科目や、知識を社会に生かす
方法を学ぶ応用専門科目を自由に学び、専門性を高めます。

研究室に配属し、最先端の研究に取り組みます。
成果の学会発表に必要なプレゼンテーション能力を身につけます。

1年次からの実践プレゼンテーションや専門実験の学びを生かし、
卒業研究に取り組みます。

基礎科目	基礎専門科目	専門科目	進化型 理系	応用 科目	キャリア科目
<input type="checkbox"/> フロントランナー講座 <input type="checkbox"/> 基礎共通科目(自然科学系) <input type="checkbox"/> 医療概論 <input type="checkbox"/> 先端材料概論 <input type="checkbox"/> 創薬概論 <input type="checkbox"/> 食品・化粧品概論	<input type="checkbox"/> 実践プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 生物学序論 <input type="checkbox"/> 化学序論 <input checked="" type="checkbox"/> 生物学基礎実験1 <input checked="" type="checkbox"/> 生物学基礎実験2 <input checked="" type="checkbox"/> 化学基礎実験1 <input checked="" type="checkbox"/> 化学基礎実験2	<input type="checkbox"/> 分子生物学 <input type="checkbox"/> 無機化学 <input type="checkbox"/> 生化学 <input type="checkbox"/> 構造有機化学 <input type="checkbox"/> 遺伝子工学・バイオテクノロジー <input type="checkbox"/> 量子物理化学 <input type="checkbox"/> 生命分析化学 <input type="checkbox"/> 有機電子論 <input type="checkbox"/> 生命機能科学 <input type="checkbox"/> 薬理学 <input type="checkbox"/> 固体光化学 <input type="checkbox"/> ナノテクノロジー <input type="checkbox"/> 生物物理化学 <input type="checkbox"/> バイオ計測工学 <input type="checkbox"/> 有機反応各論 <input type="checkbox"/> 有機化学と分光法 <input type="checkbox"/> 細胞工学 <input type="checkbox"/> 生物無機化学 <input type="checkbox"/> 高分子化学 <input type="checkbox"/> 生物有機化学	<input type="checkbox"/> ナノバイオラボA <input type="checkbox"/> ナノバイオラボB <input checked="" type="checkbox"/> ナノバイオ卒業研究	<input type="checkbox"/> 医療系 <input type="checkbox"/> 先端材料系 <input type="checkbox"/> 創薬系 <input type="checkbox"/> 食品・化粧品系 <input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/> エリアスタディーズV <input type="checkbox"/> ベーシック・キャリアデザイン <input type="checkbox"/> 理系キャリア実習 <input type="checkbox"/> 理系キャリアデザイン <input type="checkbox"/> キャリア実習
	<input checked="" type="checkbox"/> 生物学基礎実験1 <input checked="" type="checkbox"/> 生物学基礎実験2 <input checked="" type="checkbox"/> 化学基礎実験1 <input checked="" type="checkbox"/> 化学基礎実験2	<input checked="" type="checkbox"/> 生物学基礎実験1 <input checked="" type="checkbox"/> 生物学基礎実験2 <input checked="" type="checkbox"/> 化学基礎実験1 <input checked="" type="checkbox"/> 化学基礎実験2	<input checked="" type="checkbox"/> ナノバイオ卒業研究		
	<input type="checkbox"/> バイオサイエンスバック <input type="checkbox"/> ナノサイエンスバック <input type="checkbox"/> ナノバイオサイエンスバック <input type="checkbox"/> ケミカルサイエンスバック	<input type="checkbox"/> バイオサイエンスバック <input type="checkbox"/> ナノサイエンスバック <input type="checkbox"/> ナノバイオサイエンスバック <input type="checkbox"/> ケミカルサイエンスバック	<input checked="" type="checkbox"/> ナノバイオ卒業研究		
	<input checked="" type="checkbox"/> 遺伝子組換え、細胞培養、クロマトグラフィーなど、1年次から専門的な実験に取り組みます。	<input checked="" type="checkbox"/> 医薬品の働きや、薬とは何か、病気の発症メカニズム等を、代表的な医薬品を例に学びます。	<input checked="" type="checkbox"/> 現役医師から、感染症やウイルス学、再生医療、遺伝子治療などについて学びます。	<input checked="" type="checkbox"/> ナノテクノロジーからがん治療まで、幅広い分野からテーマを選び、卒業研究に取り組みます。	

(2026年度参考) ※上記は先進科学コースのカリキュラムです。学際科学コースの3年次以降のカリキュラムは上記とは異なります。 ※赤字は同本キャンパスで実施する科目です。

研究室一覧

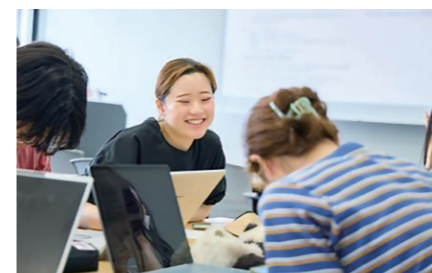
研究室詳細はHPへ



バイオサイエンス	ナノバイオサイエンス	ナノサイエンス	ケミカルサイエンス
教員 研究室 西方 敬人 教授 分子細胞発生学研究室 [研究分野] 発生学、腫瘍学、がん治療、自然免疫	教員 研究室 中野 修一 教授 バイオ分子機能研究室 [研究分野] 物理化学、核酸化学、生体機能関連化学、分子生物学	教員 研究室 赤松 謙祐 教授 ナノ材料化学研究室 [研究分野] ナノ材料化学、無機化学、電気化学	教員 研究室 藤井 敏司 教授 生物無機化学研究室 [研究分野] 生物無機化学、錯体化学、ペプチド、生体機能関連化学
教員 研究室 川上 純司 教授 遺伝子薬学研究室 [研究分野] 核酸医薬、RNA工学、遺伝子工学	教員 研究室 三好 大輔 教授 分子設計化学研究室 [研究分野] 生体機能関連化学、核酸化学、生物物理化学	教員 研究室 鶴岡 孝章 准教授 無機光化学研究室 [研究分野] 光化学、ナノ複合化学	教員 研究室 村嶋 貴之 教授 有機合成化学研究室 [研究分野] 有機合成化学、生体機能関連化学、機能性色素化学
教員 研究室 川内 敬子 准教授 腫瘍分子生物学研究室 [研究分野] 分子生物学、腫瘍生物学、生物物理学	教員 研究室 白井 健二 准教授 バイオ計測化学研究室 [研究分野] 生体分子工学、生体機能関連化学、タンパク質・ペプチド工学	教員 研究室 高嶋 洋平 准教授 機能システム化学研究室 [研究分野] 有機-無機ハイブリッド材料、自己組織化	教員 研究室 松井 淳 教授 機能性高分子研究室 [研究分野] 高分子化学、生体機能関連化学、バイオセンサー
教員 研究室 長濱 宏治 教授 生命高分子科学研究室 [研究分野] 高分子化学、医用材料学、再生医療、医科学	教員 研究室 石川 真実 助教 応用細胞生物学研究室 [研究分野] 幹細胞生物学、免疫学、歯学	教員 研究室 甲元 一也 教授 生物有機化学研究室 [研究分野] 有機化学、生体機能関連化学、酵素化学、糖鎖工学	

(2026年度)

授業PICK UP



有機電子論

有機化合物がかかわる化学反応はさまざまですが、ほとんどは電子の動きや電荷の偏りで説明することができます。この授業では、有機反応を電子論の立場から整理・分類して、反応の起こる仕組みへの理解を深め、初めて出会った反応に対しても考察できる力を身につけます。

さまざまな化学反応を基礎から理解
化学への苦手意識を払しょくし
自分で考える面白さを知るきっかけに

フロンティアサイエンス学部 生命化学科 2年次 西川 楓莉さん
兵庫県立神戸鈴蘭台高校出身

高校までは、ただ覚えるだけだった化学の反応式。この授業では、何と何が結合しているのかなど、反応機構の詳細を学ぶことができました。反応時の物質の構造や変化について、先生が図解でわかりやすく示してくださるので、反応の流れを電子の動きとして理解できたことも大きかったです。実は化学が苦手だった私も、この授業をきっかけに意識が変化。反応式を読み解くのが楽しくなり、次にどんな反応が起こるのかを考える面白さも知りました。有機化学を専門分野として学びを深め、化粧品開発の仕事につなげたいと考えています。



これまでにならばシステムが発見を生む FIRSTならではの研究環境

[研究室紹介]

最先端の研究が集まるフロンティアサイエンス学部では、さまざまな分野の横断的な研究に取り組むことができます。



バイオ 腫瘍分子生物学研究室

基礎研究だけでなく、 治療技術開発のがん研究にも挑戦

がんによる死亡者数が年々増えている理由の一つが、抗がん剤治療で死滅しないがん細胞。私たちは、がん細胞の形や細胞の中にあるさまざまな構造体の形に注目して、抗がん剤治療への耐性の仕組みを明らかにし、がん細胞を死滅させる方法の開発を進めています。これまでの研究で作成した、がん細胞を死滅させることができる薬剤の医療応用をめざし、がんへ送達する技術の開発など、がんの再発を防ぎ、再発した場合でも効果を示す新しい治療法を提案していきます。

MESSAGE

フロンティアサイエンス学部では、医療研究の幅広い学問を学べます。私たちと一緒に、新しい社会を切り開きましょう。

COLUMN



ギネス級のモニュメント
夜にはライトアップも

最先端の機器と技術がそろう4つの研究ゾーン

3階から6階までのフロアは、各分野ごとの研究ゾーン。最先端の機器とその道の専門家である先生たちと一緒に、幅広く研究に打ち込める環境が整っています。

人間力を広げるフロア構成

6F 研究ゾーン	有機化学・ケミカル	マイラボ
5F 研究ゾーン	無機化学・ナノ	マイラボ
4F 研究ゾーン	核酸化学・ナノバイオ	マイラボ
3F 研究ゾーン	生物・バイオ	マイラボ

- POINT 1 視野が広がる!
4つの分野を自由に往来できる
- POINT 2 同級生・先輩との交流も
自分だけの研究スペース「マイラボ」
- POINT 3 すぐに先生に質問できる!
「マイラボ」と「研究ゾーン」は徒歩10秒!



さまざまな研究に触れられる
神戸医療産業都市に立地!

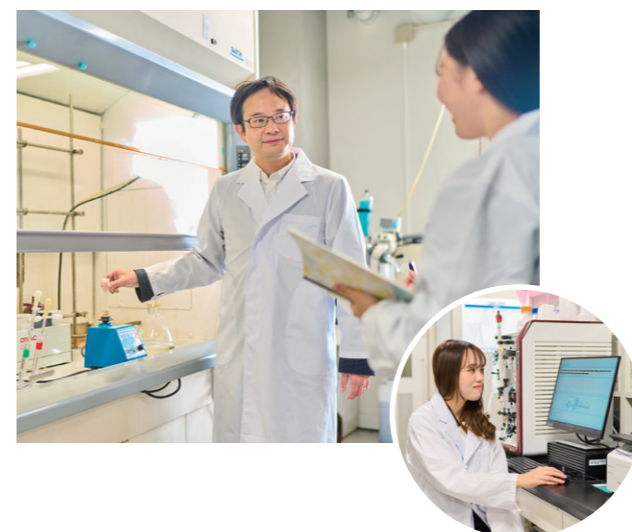


FIRSTならではの充実の設備

核磁気共鳴装置 ▶
核スピンの共鳴現象を観測
磁場の中に入れて観測することで、物質の分子構造を解析するための装置です。

透過型電子顕微鏡 ▶
電子線を照射することで、ナノサイズの物質のサイズや形状を観察できる顕微鏡です。

共焦点レーザー顕微鏡 ▶
生きた細胞や組織を観察
生体試料の観察を可能にする先端的な顕微鏡で高解像度の三次元画像を取得できます。



バイオ 白井 健二准教授 バイオ計測化学研究室

世界でただ一つのペプチドを作り 社会に役立てよう

ペプチドとは小型のたんぱく質です。たんぱく質はアミラーゼなどの酵素のように、生体内のさまざまな役割を担っています。化学合成でこのペプチドを作製し、人工の化合物なども結合させることで、世界でただ一つのオリジナル機能を持ったペプチドを合成することができます。唾液などの体液から病気の診断をしたり、化粧品や化粧品に含まれるアレルギー性物質を検出するなど、社会に役立つ薬や材料、検出装置などの開発につなげています。

MESSAGE

社会に役立つ、世界でここだけのペプチドを考え、合成し、世に出せるのが、この研究室の魅力。一緒に挑戦していきましょう!

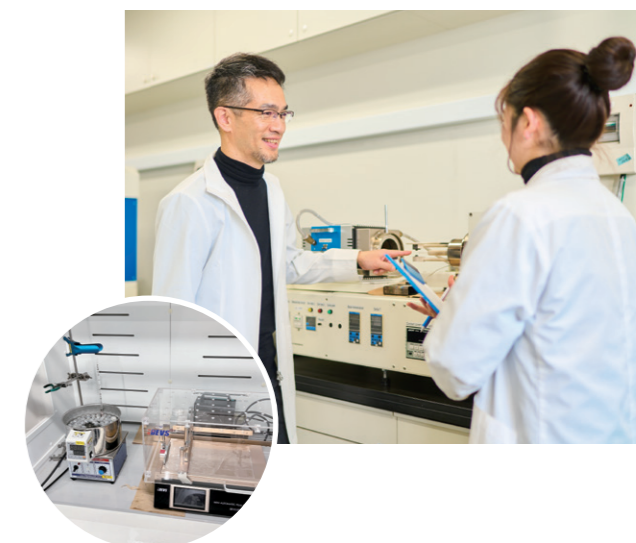
ナノ 赤松 謙祐教授 ナノ材料化学研究室

エネルギーに貢献できる 最先端のナノテクノロジーを

私たちの研究室では熱エネルギーを電気エネルギーに変える装置や材料の開発など、エネルギー変換材料やプロセスに関する研究を、環境に優しい材料を使って進めています。将来的には排出ガスを出さない自動車や、極めて長持ちする電池の開発につなげることも意識した、エネルギー問題に貢献できる研究です。教員3名による3つのグループ合同で研究室を運営しているので、分野の異なる専門家の意見を聞くことができる環境も整っています。

MESSAGE

世界一の性能をめざして、新しい合成方法の開発にチャレンジしています。一緒に最先端の研究を進めていきましょう。



ケミカル 甲元 一也教授 生物有機化学研究室

生物の仕組みに倣った 新しい発想のものづくり

食品や化粧品、薬に混ぜる成分の中には、もっと多く溶けると効果が飛躍的に上がるものがあります。しかし、成分が水に溶ける量には限界があり、私たちの研究室では、その限界量を増やす「溶かす技術」を開発することによって、食品や化粧品、医薬品をより良くすることに挑戦しています。2023年1月には、甲南大学発の第1号ベンチャーである株式会社B-Labを設立。研究から製品づくりまでを一貫し、新しいものづくりに取り組んでいます。

MESSAGE

身につけた知識をつなぎ合わせアイデアを創る発想力で、食品や化粧品、医薬品の未来を変える研究に取り組むことができます。



未来の研究者たち FIRST Style

FIRSTならではの最先端の環境で、
深く濃いキャンパスライフを送りながら
研究者として成長中の1年次から4年次までをご紹介します。



自己免疫疾患の病理解明に向け 学びを深めていきたい

フロンティアサイエンス学部 生命化学科 1年次 久徳 璃美さん
兵庫県・愛徳学園高校出身

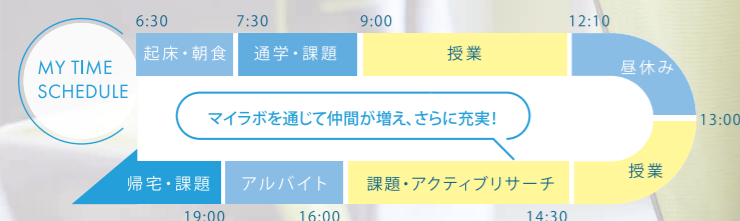
Style 1

Q FIRST進学を決めた理由、ポイントは何？

病気の原因や進行過程にはまだ未解明なことが多いと知り、細胞や分子の研究を深め、解明したいと考えていました。FIRSTは生物学と化学を組み合わせることで学ぶ環境が整っており、1年次から本格的な実験にも取り組みます。先生方との距離が近く、質問や相談がしやすい環境にも決め手になりました。

Q 入学後に実感する本学部ならではの魅力は何？

幅広い分野を基礎からしっかり学んでいけるので、広く深く知識が身につくのが実感。自分専用の研究スペース「マイラボ」では、学年や分野の枠を超えて一緒に勉強したり、談笑したりと気軽に交流できます。大学生活を満喫しながら、自己免疫疾患の病理の解明と応用についての研究を深めていきたいです。



2年次から専門研究をスタート 刺激的な環境が探究心を高めてくれる

フロンティアサイエンス学部 生命化学科 2年次 五百住 仁さん
神戸市立葺合高校出身

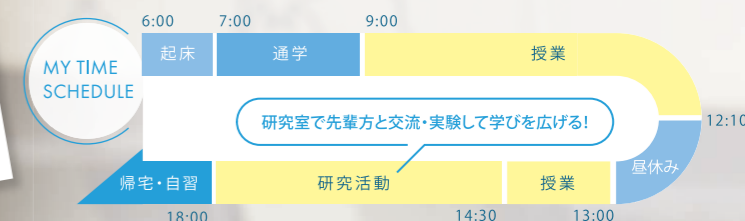
Style 2

Q 学びのベースになったと感じる授業は？

専門的な実験に取り組む「学生実験」が印象に残っています。特定の分野だけでなく、ナノからバイオまで幅広い分野の研究ができ、知識も広がりました。特に興味をもったのは、ペプチドを用いた機能性材料をつくり出す実験。研究を通して先輩方との交流が深まったのも、将来を考えるうえで力になりました。

Q 大学生活におけるターニングポイントは何？

2年次からの研究室配属を希望したことです。現在は所属する研究室で、多方面での応用が期待できるペプチド合成について、先輩方とともに研究に励んでいます。研究に活用できる実験手法を早くから身につけることができ、全国の研究者が集まる学会にも参加。刺激に満ちた毎日に、探究心もぐんぐん高まります。



化粧品の研究職に就く！ 夢に向かって学びに没頭できる環境

フロンティアサイエンス学部 生命化学科 3年次 大垣 沙綾さん
兵庫県・三田学園高校出身

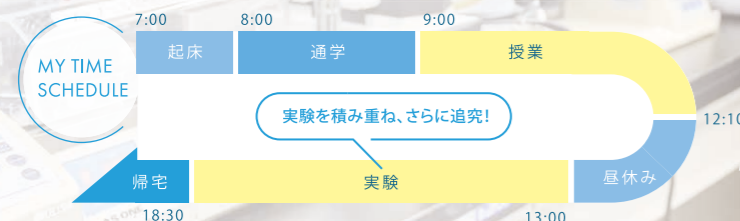
Style 3

Q FIRSTの学びに興味をもった理由は？

私自身肌が弱いので、安心して使える化粧品をつくりたいと考えていました。FIRSTには、化粧品にかかわる化学・生物の知識を総合的に学べるカリキュラムと、化粧品開発に役立つ研究を行っている先生がおり、将来の目標を見据えながらできる実践的な学びにも魅力を感じ、入学を決めました。

Q 化粧品にかかわる研究の内容や面白さは？

化粧品やサプリメントなどに用いられるポリフェノールに注目しており、これらの成分をより効率よく生体に取り入れられるよう、溶解度を高める技術の開発に挑んでいます。化粧品や食品会社との共同研究も行って、実際の商品開発や改良につながる研究にかかわれることも、励みになります。



大学院でも研究を続けて がんを抑制する方法を見つけたい

フロンティアサイエンス学部 生命化学科 4年次 野本 明聡さん
兵庫県立明石西高校出身

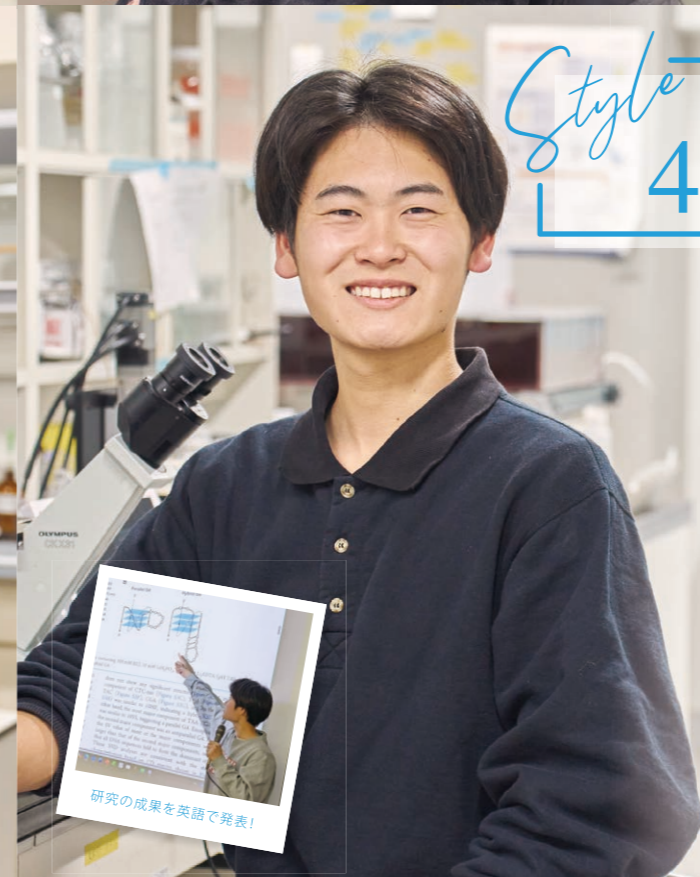
Style 4

Q 今、取り組んでいる研究テーマは？

研究室では、がんを発症する遺伝子の構造や、発症を抑える物質についての研究を行っています。物質はもちろん、その組み合わせや量などもさまざまな試みながら、遺伝子の変化を詳細に観察。大学院でもこのテーマで研究活動を続け、がんを抑制する方法を見つけることが目標です。

Q 研究者としての力になると感じる学びは？

「科学英語プレゼンテーション演習」です。生命化学分野の最新情報を得るには、英語力が必須。海外の論文や雑誌を読み、発表やディスカッションも英語で行うことで、意識も高まります。また、さまざまな研究機関や大学、企業と研究を通して交流できる立地の良さや、学生同士の結束力もFIRSTの強みだと感じます。



FIRST研究者の未来に直結
KONAN DATA
[フロンティアサイエンス学部 編]



甲南大学・FIRSTに集まる学生や、学びの特徴は? 数字から見えてくる、大学の姿を紹介します。

<p>学部生総数</p> <p>208人 (2025年度)</p> <p>男 96人 女 112人</p>	<p>研究室数</p> <p>15 (2026年度)</p> <p>詳しくはP.3へ</p>	<p>留学者数</p> <p>18人 (2025年度受付分)</p>
---	--	------------------------------------

1 FACULTY DATA 多くの研究機関が集まるポートアイランドで、研究者マインドを磨く

<p>教員1人あたりの学生数(1学年あたり)</p> <p>3人</p> <p>POINT 学部定員が1学年45名に対して教員は15名。徹底した少人数制教育で学びを深められます</p>	<p>共同研究数 (2024年度)</p> <p>20件</p> <p>POINT 研究した成果を社会の発展に役立てることができます</p>	<p>共同研究(一例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 白金ナノ粒子を含む美顔スチーマーの評価 ■ 化粧品の有効成分についての研究開発 ■ 天然成分の免疫活性化や抗酸化能の評価 ■ 日本酒麹菌が作る成分のがん治療薬への応用 ■ 人工核酸を用いた新規医薬開発に向けた研究 ■ 再生医療用材料の開発と実用化研究など <p>※過年度分を含む</p>
--	--	--

2 BASIC DATA 多数の学生が研究職・専門職に、研究をさらに深めるため大学院進学も

大学院進学率 (2024年度卒業生) **69.4%**

卒業生就職率 (2024年度卒業生) **100%**

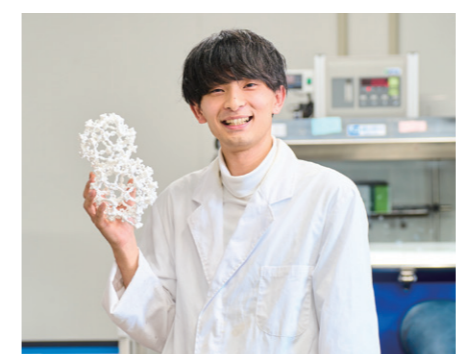
※就職希望者に占める就職者の割合

<p>業種別就職状況 (2024年度卒業生)</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学系 19.0% IT・情報系 9.0% 医療・製薬系 9.0% 機械・設備系 18.0% 食品・化粧品系 9.0% 鉄道・航空系 18.0% その他 18.0% 	<p>職種別就職状況 (2024年度卒業生)</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術・品質管理職 28.0% 営業職(MRを含む) 27.0% 開発・研究職 9.0% 企画・事務職 9.0% 運転手・地上職など 18.0% その他 9.0%
---	--

主な進路 (2023~2024年度卒業生)

<p>就職先</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ (株) アイヴィス ■ アイリスオーヤマ(株) ■ エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル(株) ■ ANA大阪空港(株) ■ (株) エムエイチアイロジテック ■ 大阪府警 ■ (株) オンテックス ■ (株) 広貴堂 ■ 三協化成(株) ■ ショーワグローブ(株) ■ ダイワボウ情報システム(株) ■ 大和冷機工業(株) ■ 田口食品(株) ■ 中国高圧コンクリート工業(株) ■ 東京理化器械(株) ■ 東西化学産業(株) ■ 西日本旅客鉄道(株) ■ 日本電気航空宇宙システム(株)(NEC航空宇宙システム) ■ (一財) 阪大微生物病研究会 ■ (株) 日立ハイテク ■ FIDIA SOLUTIONS(株) ■ (株) 船井総合研究所 ■ (株) ポオトデリカトオカツ ■ ミツ星ベルト(株) ■ (株) ムトウ(ムトウグループ) ■ リファインホールディングス(株) 	<p>進学先</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 甲南大学大学院 ■ 東京工科大学大学院 ■ 奈良先端科学技術大学院大学 ■ 北海道大学大学院生命科学院
--	---

GRADUATE STUDENT INTERVIEW



注目の新材料・多孔性金属錯体の研究を大学院で深める

フロンティアサイエンス研究科 博士後期課程3年 生命化学専攻
田中 進太郎さん

私の現在の研究テーマは「多孔性金属錯体(MOF)」と呼ばれる新しいナノテク素材です。MOFは金属イオンと有機分子からなるナノスケールの孔が多数空いた、ジャングルジムのような構造体です。無数にある極微細な孔を利用して、CO₂や次世代エネルギーの水素(H₂)を貯蔵・分離することが可能で、従来の吸着剤である活性炭やゼオライトなどに比べて、10~100倍もの吸着容量があります。また触媒やセンサーといった多岐にわたる応用も期待されており、世界的に大きな注目が集まっています。私は学部時代にナノ分野の授業を受け

る中でMOFのことを知り、「この材料についてもっと深く研究してみたい」と考え、大学院への進学を決めました。フロンティアサイエンス学部の良いところは、他の大学に比べて1年早く、学部の3年次から研究室に配属されること。学部生のうちから学会などに参加でき、最先端のテーマについて研究を深めていくことができます。現在私は、MOFに特定の分子を加えることで、構造を可逆的に変化させる研究に取り組んでいます。将来はこの注目の新材料を扱ってきたスキルを生かし、素材開発の領域で働くのが目標です。

GRADUATE'S INTERVIEW



マイラボでの学年を越えた交流や学会や展示会でのプレゼン経験で広がった視野が新たな価値創造につながる

花王株式会社 ハウスホールド研究所
見玉 歩夢さん
フロンティアサイエンス研究科修士課程 生命化学専攻 2017年度修了

商品開発に携わる仕事をしていた祖父の影響で、幼いころから「人に喜ばれるものを作りたい」という思いがあり、化学を学ぶ進路を選択。入学当初から最新機器を使用でき、学んだ知識を実践する機会が豊富なフロンティアサイエンス学部に進学しました。在学中、最も意識したのはさまざまな人とふれ合い、価値観を広げること。学年を越えて交流できるマイラボでは、先輩から多くを学びました。直接話し、間近で見ていたからこそ、先輩方の研究への多様なアプローチや考え方にふれることができ、視野や価値観が大きく広がりました。

研究室にも1年次という早い時期から所属。積極的に学会や展示会にも参加し、プレゼンテーション力も身につけることができました。現在、花王株式会社のハウスホールド研究所で洗濯洗剤の開発をおこなっています。自ら開発した技術を身の回りの製品に応用するという、幼いころからの夢の実現に向けて、一步を踏み出したのです。自分の関わった商品を使用したユーザーの喜んだ顔を見ることが一番のやりがい。商品を通して、多くの人により快適な生活を送ることができるよう、これからも努力を重ねていきます。